

平成20年12月11日

各位

予防接種のための国際金融ファシリティ (IFFIm)
GAVI アライアンス
世界銀行
株式会社大和証券グループ本社**新ワクチン債—日本の投資家に開発途上国の子供たちを救う機会を**

—資本市場を通じて開発途上国に貢献する—

このたび、株式会社大和証券グループ本社（以下、「大和証券グループ」という）、予防接種のための国際金融ファシリティ (IFFIm)（以下、「IFFIm」という）、GAVI アライアンス（以下、「GAVI」という）、および世界銀行は、2008年2月に発行した開発途上国の子供たちにワクチンを提供する資金を調達するための債券（以下「ワクチン債」という）に続き、第二回ワクチン債を発行する予定であります。IFFImは、フィッチレーティングスリミテッド（以下、「フィッチ」という）、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク（以下、「ムーディーズ」という）およびスタンダード・アンド・プアーズ・レーティングズ・サービスズ（以下、「スタンダード・アンド・プアーズ」という）の格付機関からそれぞれAA/Aa/AAAの格付けを付与されています。

IFFImは、世界の70の開発途上国における保健および予防接種サービスに対する資金供給を促進するために、資本市場において資金を調達しております。2回目の発行となる本ワクチン債は前回と同様、大和証券グループによって取り扱いが行われます。売出を大和証券グループのホールセール証券会社である大和証券エスエムビーシー株式会社が、日本の個人投資家を中心に大和証券株式会社が販売いたします。本ワクチン債は2009年2月に発行が予定されております。

ワクチン債を通じて命を救う

現在、世界中で毎年約2700万人の幼児が、一般的な小児病のワクチン投与を受けられておりません。その結果、容易に予防可能な疾病により毎年2〜300万人の子供たちが亡くなっています。また、予防接種を受けられないことにより、多くの子供たちが病に陥り、学校にも行けず、健全な成長期を送ることが出来ません。それによる教育の欠如と成人してからの脆弱な健康状態により、彼らは職につけず生活に困窮するという悪循環に陥るのです。IFFImが国際金融市場から調達しGAVIへ提供される資金により2015年までに、5億人の人々が予防可能な疾病の為にワクチン接種を受け、500万の子供の命を救うことが予想されています。これまでに、世界各国及び日本で調達された資金及び各国政府の寄付金10.8億米ドルが支出されています。

IFFImの財務基盤は、寄付者としての各国政府（フランス共和国・イタリア共和国・ノルウェー王国、南アフリカ共和国、スペイン王国、スウェーデン王国、英国）からの長期にわたる寄付金のコミットメントにより構成されています。これらの寄付金はIFFImの財務マネージャーである世界銀行によって管理されています。IFFImは各国政府による長期的な寄付金供給のコミットメントを、金融の仕組みを利用することにより、前倒しで資金調達を可能にしています。ワクチン債発行を通じて資金調達を前倒しで実施できる事により、ポリオやジフテリア、破傷風、百日咳、インフルエンザ菌B型等のワクチンの購入や保健システムの強化などに向け、より多くの子供たちに早期にワクチン等の供給が可能となり、より多くの命を救うことができます。

第一回ワクチン債と大和証券グループについて

今回のワクチン債の日本における販売はIFFIm及び大和証券グループにとって2度目の試みとなります。前回の2008年2月における販売では、社会的責任投資の意義を多くのお客様に理解していただき、総額17億南ア・ランド（日本円換算：約200億円）ご購入いただくことができました。大和証券株式会社が従来販売している債券と比較して、社会に対する関心が高い50代、60代の女性に多くご購入いただいたこと、また職業上、本商品の社会的意義にご賛同いただいた医師等のお客様の購入割合が比較的高かったことが特徴として挙げられます。

大和証券グループは日本を代表する証券グループとして、「資金を必要としている機関に個人のリスクマネーを提供する」という本来の役割を通じて、恵まれない子供たちにワクチンを供給するという世界的に意義のある活動に貢献できることを非常に喜ばしく感じております。企業に、社会に貢献する役割が求められる今、当社のそして社会の持続的発展のためにも、当社は「金融に社会的視点を組み込む」という、金融機関に求められるCSRの姿を具現化する事業を推進し、証券会社としての本来の事業を通じ、投資家が社会的課題の解決に向けて寄与・参画できる機会を提供していきたいと考えております。

IFFImについて 予防接種のための国際金融ファシリティ (IFFIm) は、多国間開発機構として設立され、GAVI (前身は「ワクチンと予防接種のための世界同盟」) を通じた世界の70の開発途上国における保健および予防接種サービスのために、予測可能な長期間の資金調達を促進する。IFFImは国連ミレニアム開発目標を到達するための開発金融手段として設立された。IFFImの財務基盤は、寄付者としての各国政府 (フランス共和国・イタリア共和国・ノルウェー王国、南アフリカ共和国、スペイン王国、スウェーデン王国、英国) からの取り消し不能で法的に拘束力を有する寄付金の支払によって構成され、これに基づきIFFImは国際金融市場において、AAA/Aaa/AAA (フィッチ/ムーディーズ/スタンダード・アンド・プアーズ) の格付けを付与された債券を発行する。世界銀行はIFFImの財務マネージャーである。IFFImは英国チャリティ委員会に登録されたチャリティとして設立され、英国会社登記所において登録番号5857343の保証有限会社、また登録番号1115413の慈善団体として登録されている。

GAVIについて GAVIは、2000年に、開発途上国の予防接種率の低下に対応し、かかる低下と戦うために設立された。GAVIは数々の開発パートナー (開発途上国・寄付者としての各国政府、世界保健機関(WHO)、国連児童基金(ユニセフ)、世界銀行、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団、ワクチン業界、研究技術機関、公共保健機関、非政府組織、およびGAVIファンド (GAVIの一組織)) を含む官民パートナーシップである。

世界銀行について 世界銀行は、加盟国185カ国によって所有される国際機関である。その目的は、加盟国が国内経済において公平且つ持続可能な経済成長を成し遂げ、経済発展および環境維持に関する地域的・全世界的問題を効果的に解決する手立てを見出すことである。世界の人々の貧困の克服と生活水準の向上を目標とする。Aaa/AAA (ムーディーズ/スタンダード・アンド・プアーズ) の格付けを有する世界銀行は世界銀行グループの中では最も歴史が長い最大の組織であり、加盟国に対して融資、リスク管理商品、信用力向上のツールを提供する。これらの活動の為に、世界銀行は60年にわたり国際金融市場で債券を発行している。世界銀行はIFFImの財務マネージャーでもある。この職務において、世界銀行はIFFImの代理人として、忠実に規則と基準に沿ってIFFImの財務管理を行う。ここにはIFFImの資金調達戦略および資本市場、格付け機関、投資家対応、ヘッジ取引、投資管理における当戦略の実行が含まれる。また世界銀行は、IFFImの寄付者間を調整し、誓約と寄付金支払の管理、またGAVIを通じてIFFImが提供する保健および予防接種サービスを管理する。

<本件に関するお問い合わせ先>

GAVI (ジュネーブ)
担当: 清水栄一
TEL: +41-22-909-6566

世界銀行 東京事務所
担当: 有馬良行
TEL: 03-3597-6650

大和証券SMBC株式会社
経営企画部広報課 神田、岡田、新井田
TEL: 03-5555-3039

株式会社大和証券グループ本社
広報部 栗原、見澤、湊ノ上、岸野
TEL: 03-5555-1165